

第 8 5 回

2015 1/9 金 18:00-19:00

モデレーター：磯 博康 (大阪大学大学院医学系研究科 副研究科長)

死因究明が 未来の医療を創る

未 来

大阪大学吹田キャンパス
最先端医療イノベーションセンター1F
マルチメディアホール
19:10～ 情報交換会：1F ホワイエ

医 療

主催：大阪大学大学院医学系研究科

共催：未来医療交流会

後援：文部科学省橋渡し研究加速ネットワークプログラム
大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」
厚生労働省早期・探索的臨床試験拠点整備事業
大阪大学医学部附属病院未来医療センター
大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

セ ミ ナ ー



松本 博志

大阪大学大学院

医学系研究科 法医学教室

死因について、皆さんはどうお考えだろうか。日本人の三大死因が、悪性新生物、脳血管疾患を含む循環器疾患、肺炎であることはご存じかと思う。悪性新生物については、その割合は減少している一方、循環器疾患、肺炎については横ばいで絶対数は増加している。ところが、循環器疾患の内、心疾患は、大阪市内のデータでは死体で発見された方が40%超を占めている。このことは医療を受ける前に亡くなっているとも言えるが、その死亡機序を含めた検討はなされていない。それ以前に死因診断基準は?と言われると残念ながら。このセミナーでは院内外の突然死を含め、忘れられてきた分野である死因究明の観点から、死因診断の問題、死亡機序の課題を抽出し未来の医療を考えてみる。